

ATTN: BOX MISSING PARTS

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of

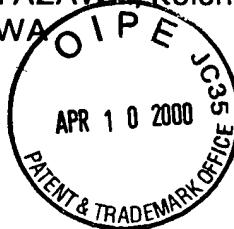
Q56708

Satoshi SHINADA, Takeo SEINO, Hisashi MIYAZAWA, Koichi TOBA, Takahiro NAKA, Minoru USUI,
Atsushi KOBAYASHI and Hitoshi HAYAKAWA

Serial No.: 09/437,246

Filed: November 10, 1999

For: INK-JET PRINTING APPARATUS AND INK CARTRIDGE



*#4/Priority
Apers
12/24
5/3/00*

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

Submitted herewith are three (3) certified copies of the priority documents on which a claim to priority is made under 35 USC 119. The Office is respectfully requested to acknowledge receipt of said priority documents.

Respectfully submitted,

Darryl Mexic
Registration No. 23,063

SUGHRUE, MION, ZINN, MACPEAK & SEAS
2100 Pennsylvania Avenue, N.W.
Washington, D.C. 20037-3202
Tel: (202) 293-7060
DM:alb

Date: April 10, 2000

No: 10-320113 (Japanese)
11-56676 (Japanese)
11-228430 (Japanese)

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

APR 10 2000

PATENT & TRADEMARK OFFICE

9 9 8 年 1 1 月 1 1 日

出 願 番 号

Application Number:

平成 1 0 年 特 許 願 第 3 2 0 1 1 3 号

出 願 人

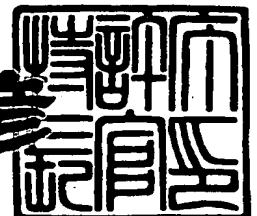
Applicant (s):

セイコーエプソン株式会社

1 9 9 9 年 1 1 月 2 6 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



出 証 番 号 出 証 特 平 1 1 - 3 0 8 2 2 2 4

【書類名】 特許願

【整理番号】 71573

【提出日】 平成10年11月11日

【あて先】 特許庁長官 伊佐山 建志 殿

【国際特許分類】 B41J 2/175

【発明の名称】 インクジェット式記録装置用インクカートリッジ

【請求項の数】 7

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

【氏名】 宮澤 久

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

【氏名】 中 隆廣

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

【氏名】 品田 聡

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

【氏名】 碓井 稔

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

【氏名】 早川 均

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

式会社内

【氏名】 小林 淳

【特許出願人】

【識別番号】 000002369

【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代表者】 安川 英昭

【代理人】

【識別番号】 100082566

【弁理士】

【氏名又は名称】 西川 慶治

【電話番号】 03-3815-6100

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 015484

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インクジェット式記録装置用インクカートリッジ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 インク供給口に筒状パッキンを備え、記録ヘッドに連通するインク供給針と前記パッキンを介してインク室から前記記録ヘッドにインクを供給するインクカートリッジにおいて、

前記筒状パッキンの前記インク室側の表面にバネで常時弾接され、かつ前記インク供給針の挿入により後退する弁体が収容されているインクカートリッジ。

【請求項 2】 前記筒状パッキンの前記インク室側の表面に前記弁体の一部を収容する凹部が形成されている請求項 1 に記載のインクカートリッジ。

【請求項 3】 前記筒状パッキンに前記インク供給針をガイドするテーパ部が形成されている請求項 1 に記載のインクカートリッジ。

【請求項 4】 前記テーパ部が前記インク供給針の周囲に弾接する請求項 3 に記載のインクカートリッジ。

【請求項 5】 前記筒状パッキンに前記インク供給針の周囲に弾接する筒状の嵌合部が形成されている請求項 1 に記載のインクカートリッジ。

【請求項 6】 前記弁体が、前記筒状パッキンの前記インク室側の表面に弾接する平面部を有する封止部に流体通過用の切欠き部を形成して構成されている請求項 1 に記載のインクカートリッジ。

【請求項 7】 前記封止部が、前記インク室側にガイド部材を有する請求項 6 に記載のインクカートリッジ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、印刷信号に対応してインク滴を吐出する記録ヘッドにインクを供給する着脱可能なインクカートリッジに関する。

【0002】

【従来の技術】

インクジェット式記録装置の記録ヘッドは、インク供給流路を介してインクカ

ートリッジに接続され、インクカートリッジからインクの供給を受けるように構成されている。そして、インクの補給を可能ならしめるため、インクカートリッジにインク供給口を、またインク供給流路に中空針を設け、インクカートリッジの装填により中空針をインク供給口に挿入、結合させるように構成されている。

【0003】

このため、インクカートリッジの交換等によりインクカートリッジが記録装置から引き抜かれると、インク供給口からインクが漏れ出す虞がある。

このような問題を解消するため、例えば特開平9-174876号公報に見られるように、インク供給口の先端に弾性体製の隔壁のスリットのインク収容領域側に常時バネでスリットに付勢された進退可能なボールを設けたインクカートリッジが提案されている。

これによれば、記録装置の中空針をスリットに挿入することによりボールを後退させてインク流路を開くことができ、またインクカートリッジが抜かれた場合には、インク供給口がスリットの閉鎖とボールのスリットへの弾接とにより封止されるため、カートリッジからのインクの漏れ出しが防止される。

【0004】

ところで、圧力発生室のインク加圧手段として圧電振動子を使用する記録ヘッドにあっては、発熱素子を加圧手段に用いる記録ヘッドに比較して加圧力が弱いため、これに使用するインクカートリッジは、脱気処理がなされたインクが収容されており、インク供給針への装着時での気密状態を維持するため、図9に示したようにインクカートリッジAのインク供給口Bには記録ヘッドCに連通するインク供給針Dの周囲に弾性的に嵌合する筒状パッキンEが装填されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

このような構造を採るインクカートリッジに対して特開平9-174876号公報に見られるようなシール構造を採ろうとすると、インク供給口の構造が複雑化するという問題がある。

本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであって、その目的とするところは、パッキンが装填されたインク供給口の複雑化を招くことなく、インクの漏

れ出しを防止することができるインクカートリッジを提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

このような課題を解決するために本発明においては、インク供給口に筒状パッキンを備え、記録ヘッドに連通するインク供給針と前記パッキンを介してインク室から前記記録ヘッドにインクを供給するインクカートリッジにおいて、前記筒状パッキンの前記インク室側の表面にバネで常時弾接され、かつ前記インク供給針の挿入により後退する弁体が収容されている。

【0007】

【作用】

インク供給針に弾性的に嵌合して気密性を維持するパッキンを弁座として利用し、インク供給針が抜かれた場合にはパッキンに弁体を弾接させて封止する。

【0008】

【発明の実施の形態】

そこで以下に本発明の詳細を図示した実施例に基づいて説明する。

図1は、本発明のインクカートリッジの一実施例を示すものであって、インクカートリッジ1は、インク室2と連通するインク供給口3がその一側面に形成されていて、図示しない記録ヘッドを固定するキャリッジ4の所定位置に搭載されたとき、記録ヘッド6に連通するインク供給針5はインク供給口3を介して液密に結合してインク室2に連通する。

【0009】

図2は、同上インクカートリッジのインク供給口近傍を拡大して示すものであって、インク供給口3には、中心部にインク供給針5の周囲と液密に係合可能な筒状通孔10を備えたパッキン11が陥入されている。通孔10の外側先端部、及び中央部の内周面にはインク供給針5を案内するテーパ部12、13が形成され、またインク室側には円筒状の嵌合部14が形成され、その先端にはインク供給針5の挿入により拡開する襞部16が形成され、その上面には後述する弁体17を所定位置にガイドする凹部18が形成されている。

【0010】

パッキン 11 の上部には開口 19 を介してインク室 2 に連通する筒状のインク誘導室 20 が形成され、ここに弁体 17 が圧縮バネ 21 により常時インク供給口側に付勢されて収容されている。

【0011】

図 3 は、弁体 17 の一実施例を示すものであって、インク誘導室 20 の案内部 22 に遊嵌されて軸方向に移動可能な軸 23 の一端に抜け止め 24 が、また他端にバネ保持部 25 と弁体部 26 を形成して構成されている。

【0012】

バネ保持部 25 は、その外周の一部を切り欠いてインク流路 25a を形成して構成され、また弁体部 26 は中央領域に襷部 16 に当接して封止する平板状の封止部 26a を、また外周の一部を切り欠いてインク流路 26b を形成して構成されている。なお、図中符号 27 はフィルタを、また 28 は封止フィルムを示す。

【0013】

この実施例において、カートリッジ 1 のインク供給口 10 をインク供給針 5 に位置合わせして装入すると、図 4 (イ) に示したようにインク供給針 5 が封止フィルム 28 を貫通し、テーパ部 12、13 にガイドされて嵌合部 14 に進入する。さらにカートリッジ 1 が押し込まれると、図 4 (ロ) に示したように襷部 16 がインク供給針 5 に押し広げられて開き、同時に弁体 17 がバネ 21 に抗して規定位置まで後退させられる。

【0014】

これにより、インク供給針 5 がその流入孔 5a を介してインク誘導室 20 に連通し、インク室 2 のインクを記録ヘッドに供給することが可能となる。

【0015】

一方、インクが消費され尽くしたりしてカートリッジ 1 が取り外されると、インク供給口 3 から相対的に後退するインク供給針 5 に弁体 17 がバネ 21 の付勢力で追従する。インク供給針 5 がインク供給口 5 から外れると、襷部 16 が弁体部 26 が弾圧し、インク供給口 3 とインク誘導室 20 とが封止される。

【0016】

なお、上述の実施例においては、弁体部 26 により襷部 16 を弾圧するように

しているが、図5に示したようにパッキン11の凹部18の底面全体に封止部26aを弾圧させても同様の作用を奏する。

【0017】

また、上述の実施例においては、パッキンに筒状の嵌合部14を形成してインク供給針5との気密性を確保しているが、図6（イ）に示したように襞部16の裏面側にインク供給針5の先端のテーパ部よりも大きめのテーパ部30を形成したり、また図7（イ）に示したようにインク供給口から襞部16に延びる単一のテーパ部31を形成してもよい。

【0018】

この実施例においてインク供給針15が挿入されると、図6（ロ）、及び図7（ロ）に示したように比較的薄く形成された襞部領域がインク供給針のテーパ部に倣うように弾性変形してインク供給針の周囲を弾圧して封止力を発現する。

【0019】

また、上述の実施例においては、弁体17を圧縮バネによりインク供給口側に付勢しているが、図8に示したように、引っ張りバネ32の一端をパッキン11によりカートリッジに挟み込み、他端を弁体17'のインク室側に当接させて付勢力を与えることもできる。

【0020】

なお、上述の実施例においてはキャリッジに搭載されるインクカートリッジに例を採って説明したが、キャリッジに記録ヘッドだけを搭載する一方、インクカートリッジを函体側に設置してインク供給チューブによりカートリッジのインクを記録ヘッドに供給する記録装置におけるインクカートリッジとインク供給チューブとの接合機構に適用しても同様の作用を奏することは明らかである。

【0021】

【発明の効果】

以上、説明したように本発明においては、インク供給口に筒状パッキンを備え、記録ヘッドに連通するインク供給針とパッキンを介してインク室から記録ヘッドにインクを供給するインクカートリッジにおいて、筒状パッキンのインク室側の表面にバネで常時弾接され、かつインク供給針の挿入により後退する弁体が収

容したので、インク供給針に弾性的に嵌合して気密性を維持するパッキンを弁座とし、ここを弁体により封止するため、弁座部材の組み込みを必要とすることなく、パッキンの形状変更によりインク供給口を封止する機構を組み込むことができる。また、インク供給針に弾性的に係合するインク供給口を弾圧するため、記録装置から引き抜かれた場合にも、パッキンを弁体により圧縮して、装着中のクリープによる変形を回復させることができ、再装着された場合にもインク供給針との気密性を確保することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明のインクカートリッジの一実施例を、記録ヘッドにインク供給可能な状態で示した断面図である。

【図 2】

同上インクカートリッジのインク供給口近傍を拡大して示す断面図である。

【図 3】

同上インクカートリッジの弁体の一実施例を示す斜視図である。

【図 4】

図（イ）、（ロ）は、それぞれ同上インクカートリッジをインク供給針に装着する過程、及び装着状態を示す断面図である。

【図 5】

本発明のインクカートリッジの他の実施例を、インク供給口近傍を拡大して示す断面図である。

【図 6】

図（イ）、（ロ）は、それぞれ本発明のインクカートリッジの他の実施例を、インク供給口近傍を拡大して示す断面図、及び装着状態を示す断面図である。

【図 7】

図（イ）、（ロ）は、それぞれ本発明のインクカートリッジの他の実施例を、インク供給口近傍を拡大して示す断面図、及び装着状態を示す断面図である。

【図 8】

本発明のインクカートリッジの他の実施例を、インク供給口近傍を拡大して示

す断面図である。

【図9】

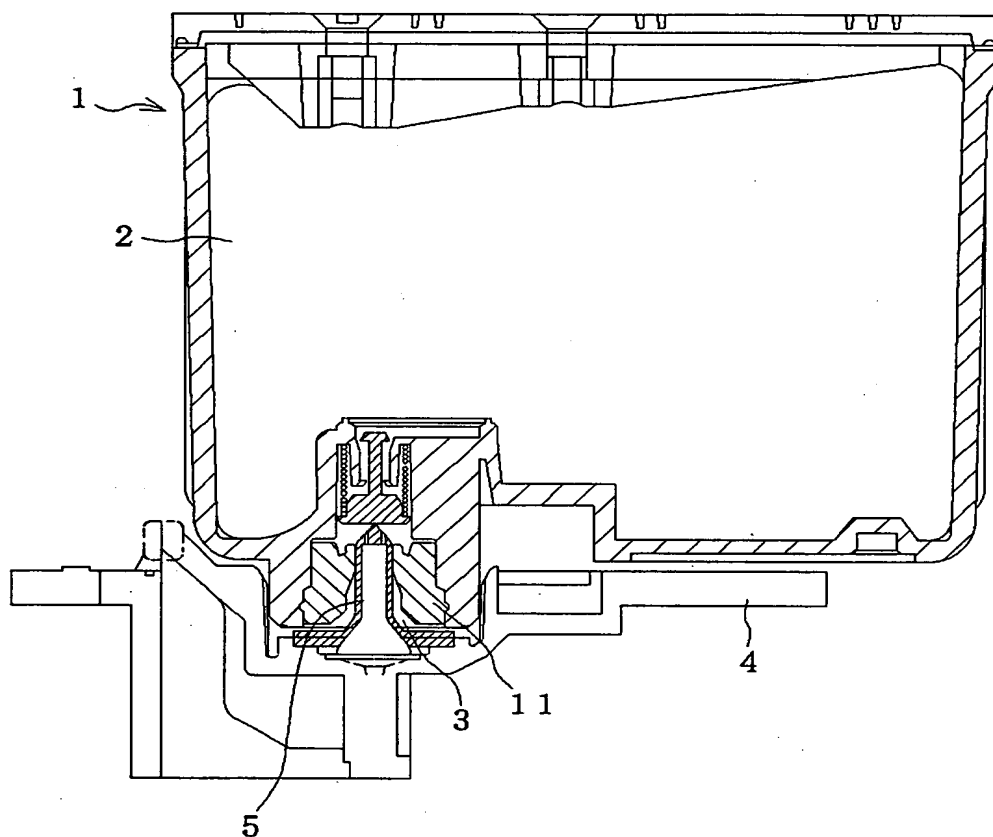
従来のインクカートリッジの一例を示す断面図である。

【符号の説明】

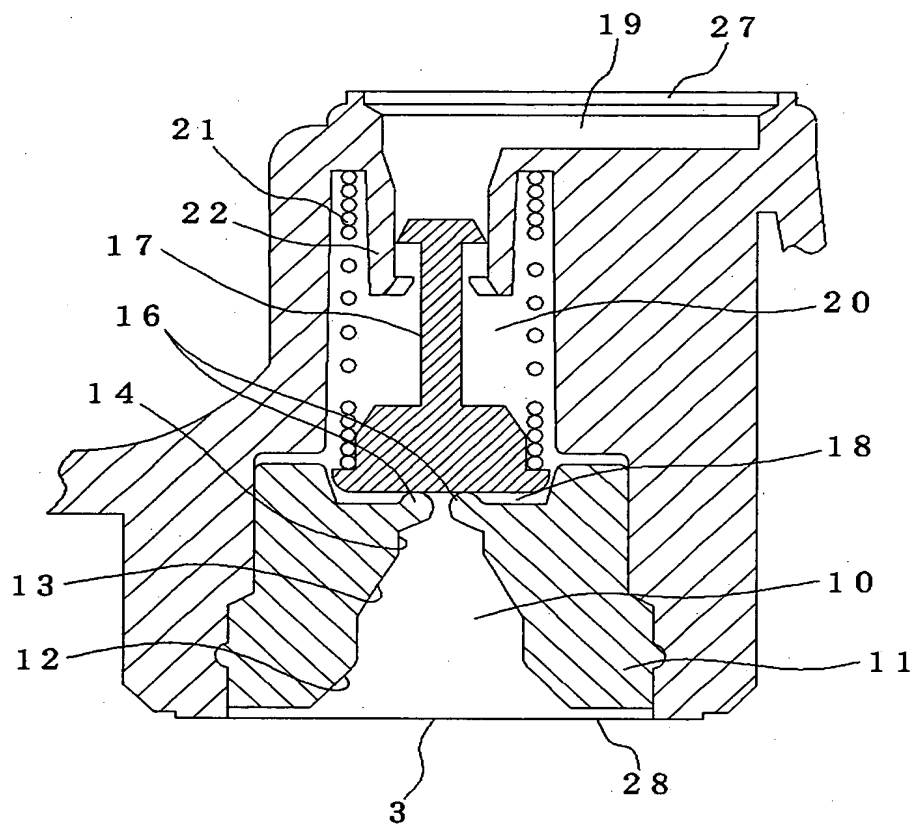
- 1 インクカートリッジ
- 2 インク室
- 3 インク供給口
- 5 インク供給針
- 11 パッキン
- 16 襷部
- 17 弁体
- 20 インク誘導室
- 21 圧縮バネ

【書類名】 図面

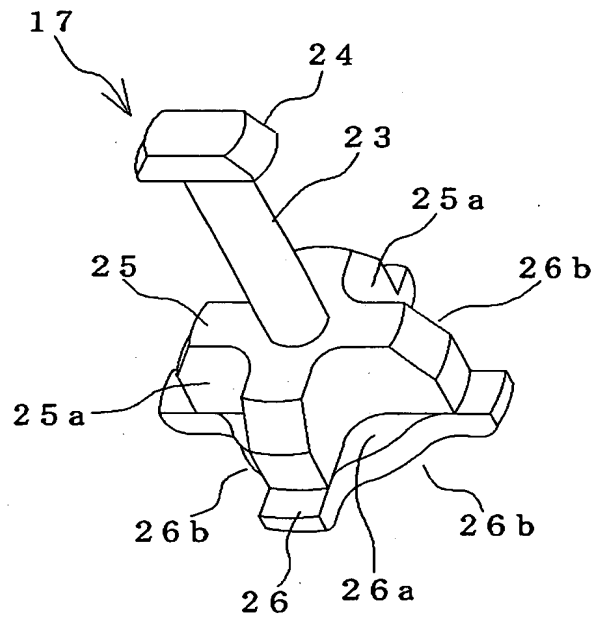
【図 1】



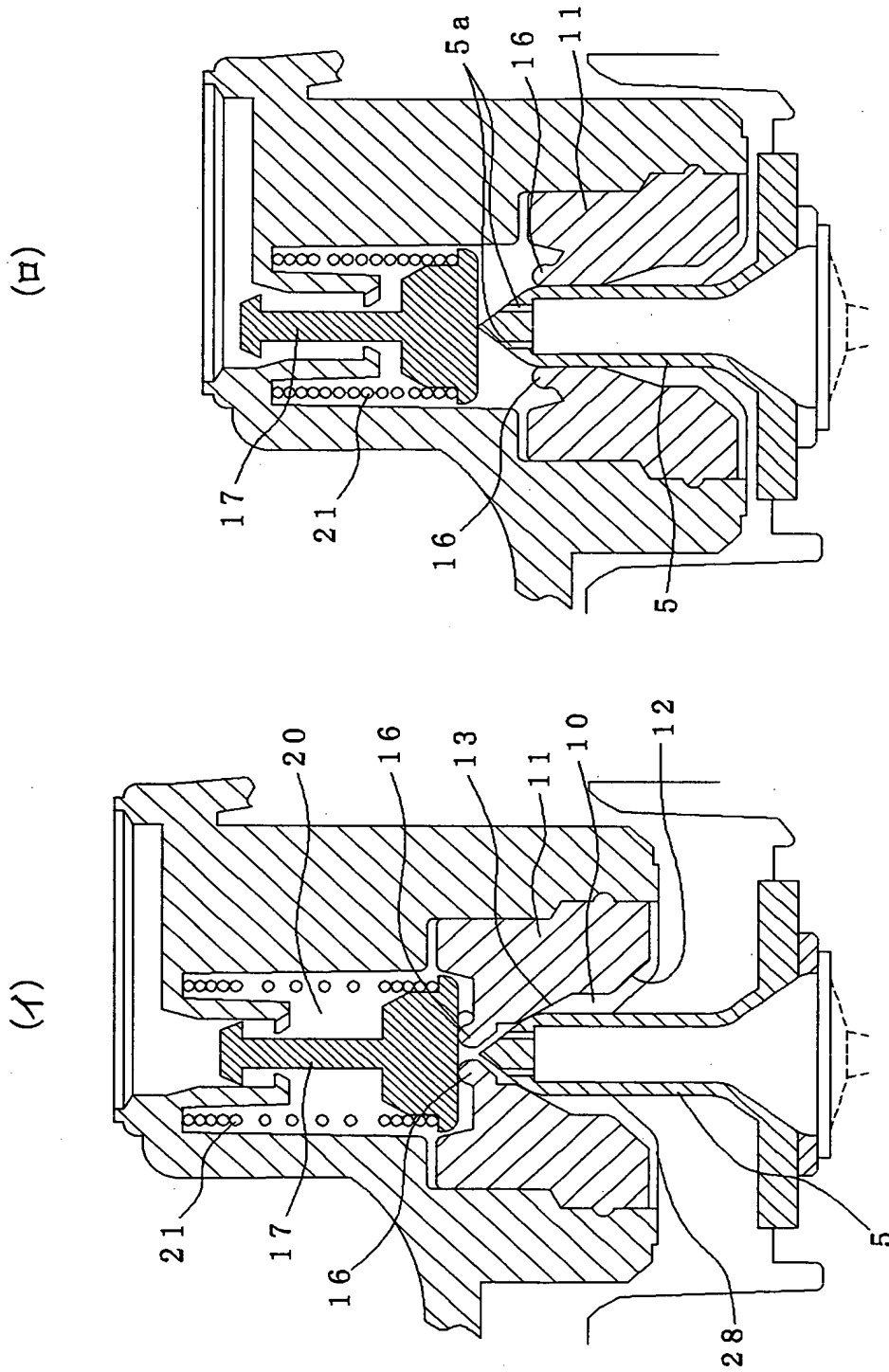
【図 2】



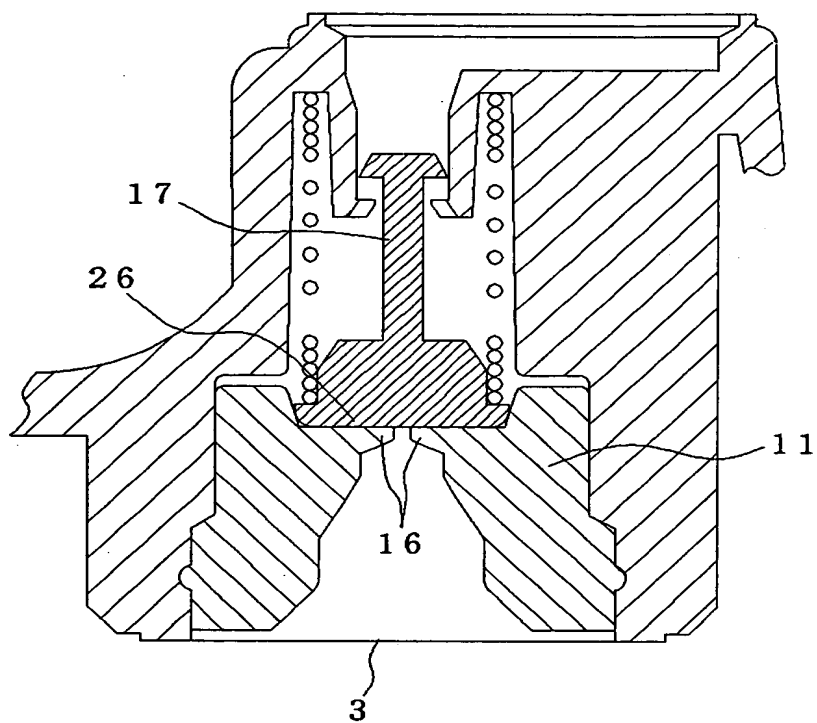
【図 3】



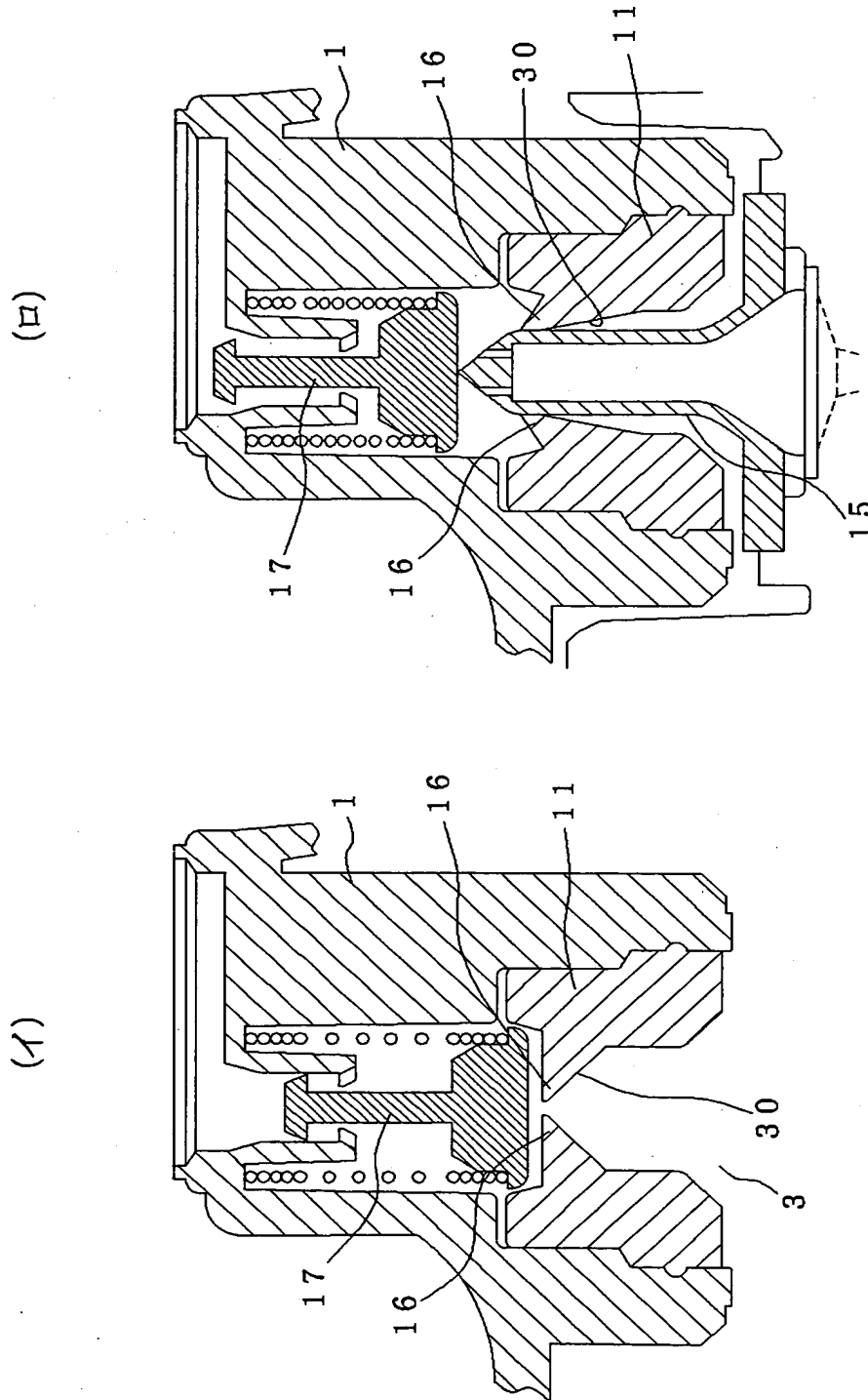
【図4】



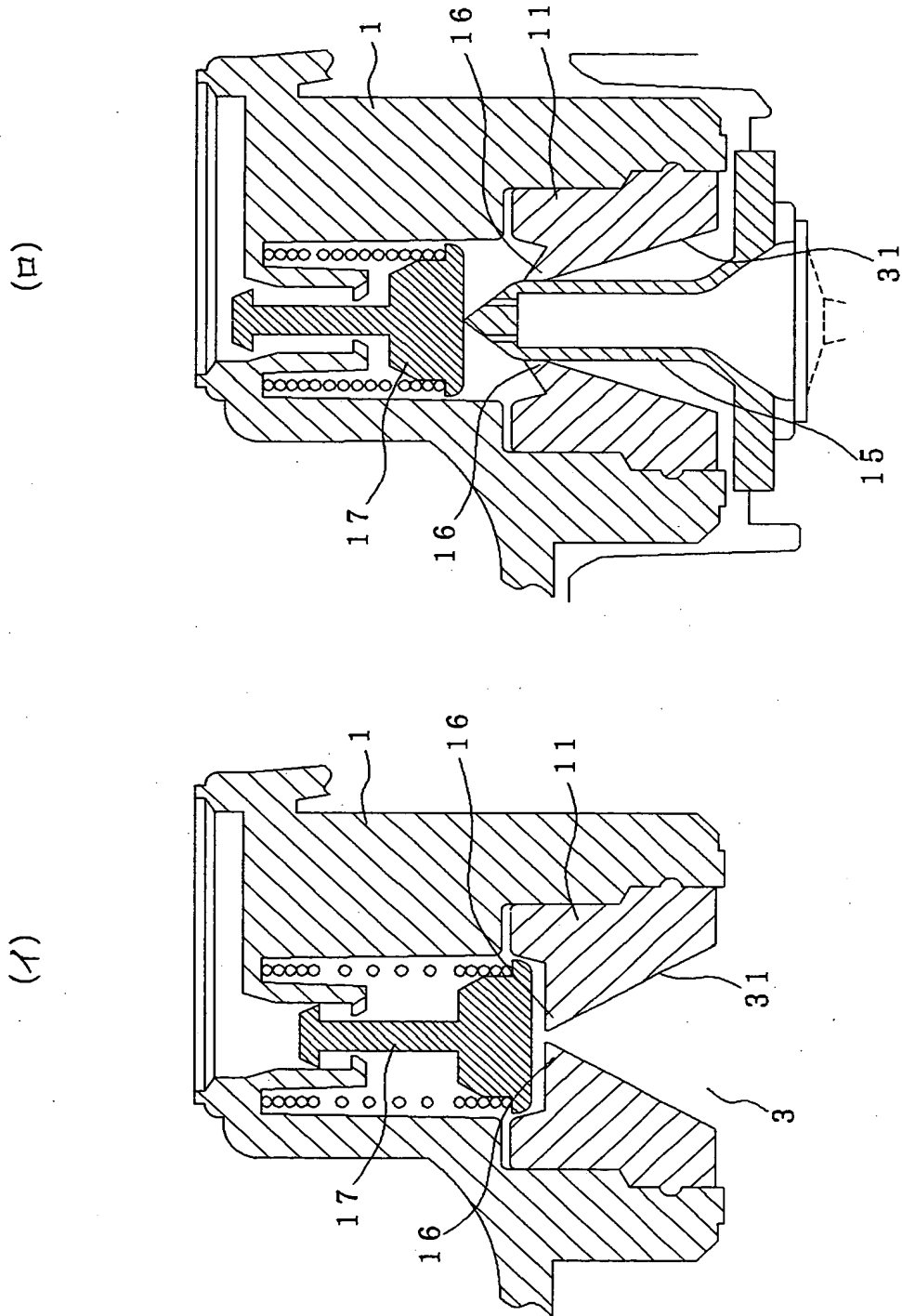
【図 5】



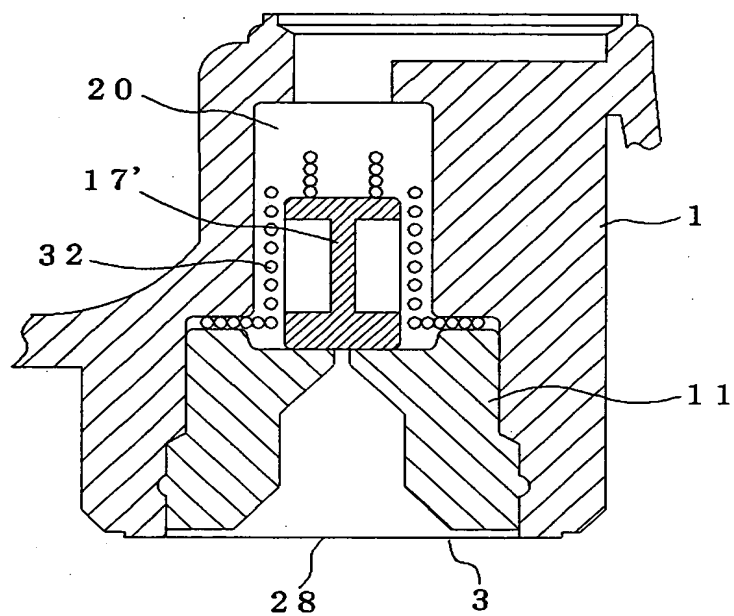
【図 6】



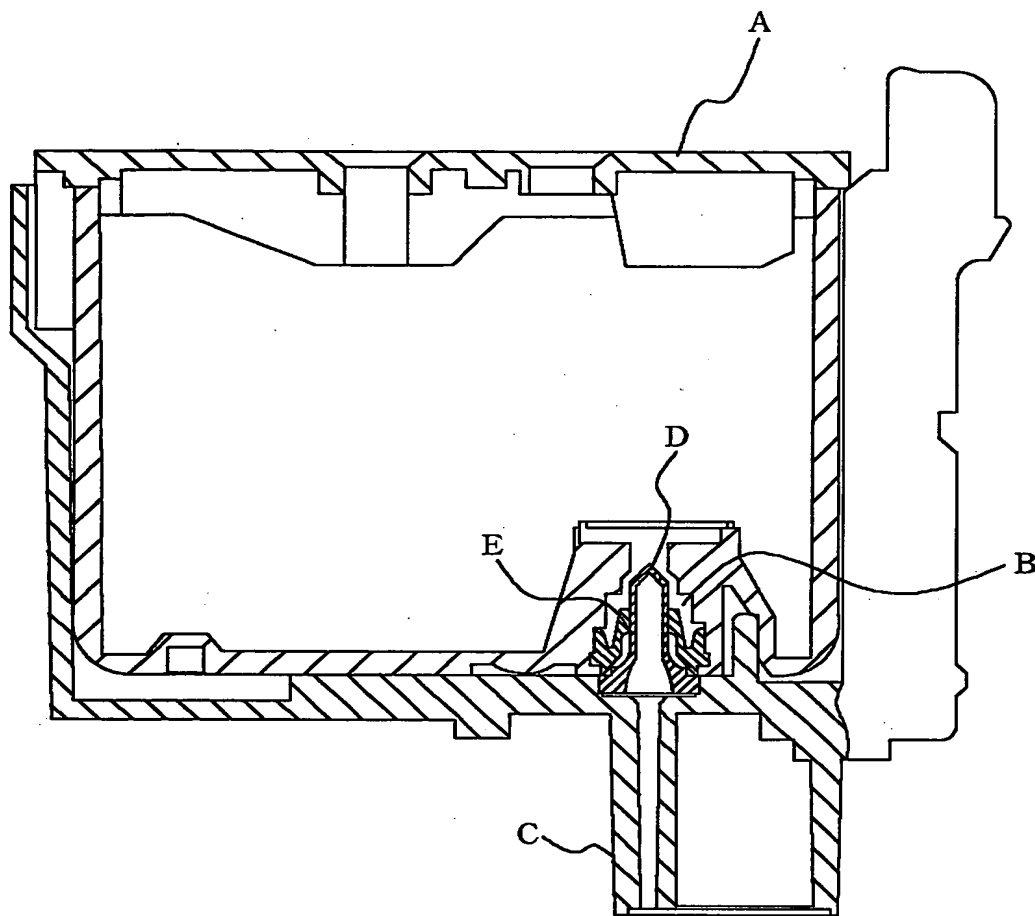
【図 7】



【図 8】



【図9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 パッキンが装填されたインク供給口の複雑化を招くことなく、インクの漏れ出しを防止することができるインクカートリッジを提供すること。

【解決手段】 筒状パッキン 11 のインク室側の表面にバネ 21 で常時弾接され、かつインク供給針 5 の挿入により後退する弁体 17 を収容して、インク供給針 5 に弾性的に嵌合して気密性を維持するパッキン 11 を弁座とし、ここを弁体 17 により封止する。

【選択図】 図 4

【書類名】
【訂正書類】

職権訂正データ
特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】

000002369

【住所又は居所】

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

【氏名又は名称】

セイコーエプソン株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】

100082566

【住所又は居所】

東京都文京区小石川2-1-2 十一山京ビル3階

【氏名又は名称】

西川 慶治

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000002369]

1. 変更年月日 1990年 8月20日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

氏 名 セイコーエプソン株式会社